

＜事前質問・意見・取り組み等＞

	内容
独立行政法人 国立病院機 構熊本医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年の当院 ER 受診者（自傷・自殺未遂）を調査したところ、若年女性の受診者が大変増えていた。全国的に自殺が増えた9月～10月頃。その一方で、熊本市の自死数のなかで若年女性は比較的抑えられていたかと思う。自傷行為も含めて適切に医療につながることで自殺予防につながるかも知れないひとつのデータと考えた。 ・ この流れで、家庭医ほかのかかりつけ医が自殺予防にとって大きな役割を果たす。熊本市における、GP 連携がどの程度の機能しているのか、自殺危機におちいった方を精神科に紹介しようとしたとき、どのくらいすぐに診察予約がとれているかを熊本市として調査されてはいかがか。 ・ また、以前より、墜落自殺など、高所墜落が起きやすいところ（ホットスポット）があることを指摘しているが、どなたも動こうとされない。 ・ 下記を参照頂き、熊本市として対策に乗り出すべきと考える。 <p style="text-align: center;">○自殺予防総合対策センター資料「自殺多発地点でとられるべき活動の手引き」</p> <p style="text-align: center;">○千葉県の取り組み（18頁参照） https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/kokoro/documents/keikaku5_1.pdf</p>
熊本県精神保健 福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ R4年2月17日 地域精神保健福祉医療担当者自殺対策企画研修会（WEB） ・ 地域のゲートキーパー研修を熊本大学 矢原教授の助言を得ながら、内容にリフレクティングを取り入れた。 ・ 若者版ゲートキーパー養成研修教材を熊本県立大学学生と一緒に動画作成をした。